

# 漁海況情報

平成20年8月19日 第17号(通巻376号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3  
TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

## 【ケンサキイカ秋漁(9~11月)の見通し】

漁獲量：前年、平年(過去5年平均)並みでしょう。

魚体：胴長(外套長)10~20cm(3段銘柄)が主体となる。

### 予測の根拠

#### 1 漁獲量の長期変動傾向

秋漁は平成8年をピークとして平成16年まで減少傾向にありました。平成17年~19年にはやや回復しました(図)。

#### 2 魚体

例年秋季には、胴長10~20cmの未熟群が漁獲の主体となり、大型の成熟群はほとんど漁獲されません。

#### 3 漁獲量の変動要因

昭和62年以降、秋の未熟群の漁獲量は、春~夏(4~7月)の成熟群の漁獲量が多いと多くなり、春(4月)の水温

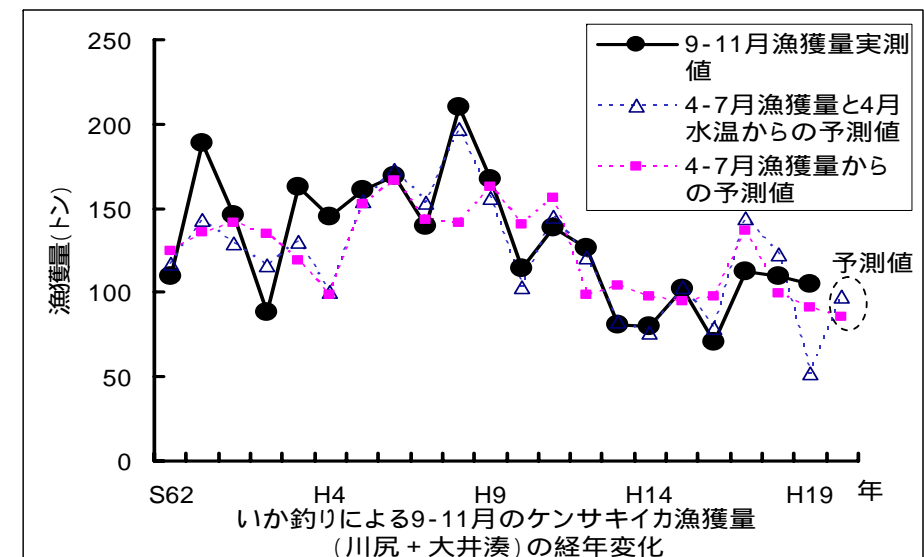
が高いと少なくなる傾向があります。

代表地区における本年4~7月の漁獲量(61,445kg)は前年(70,339kg)より少なく、4月の萩沿岸の水温(14.7℃)は前年(16.1℃)より低めでした。

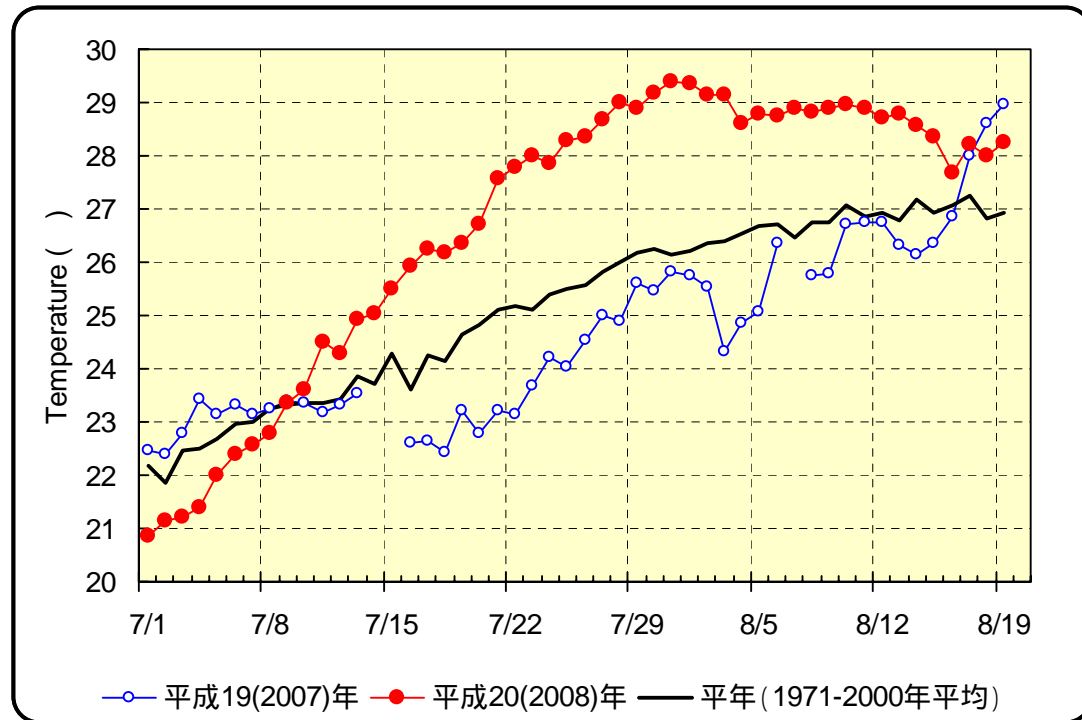
#### 4 予測モデルによる予測値

4~7月の漁獲量と4月の水温を基にした予測値、および4~7月の漁獲量を基にした予測値とも前年(105,037kg)、平年(99,959kg)並みとなりました(図)。

\* "前年、平年並み"：前年、平年の漁獲量の±20%



## 【萩-見島フェリー観測の表層水温】



萩NW15マイル沖の表層水温（7月1日以降）

萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表層水温は、7月31日に29.38°Cを記録した後、8月1日～15日は28.5～29.0°Cで推移しました。その後、8月16日には27.67°Cに下降しました。8月17日以降は、28.0～28.3°Cの間で推移しています。

8月19日の表層水温は28.25°Cで、前年に比べ0.71°C低め、平年に比べ1.34°C高めになっています。

## 【携帯電話での表面水温分布図(海況日報)サービスのお知らせ】

漁海況情報第370号でもお知らせしましたが、(社)漁業情報サービスセンターの協力により、土日を除く毎日、携帯電話から九州・山陰の表面水温分布図が確認できるようになりました。

URLは以下のとおりです。

<http://www.jafic.or.jp/keidai/index.html>

携帯電話で右のような表面水温の分布図が確認できます。どうぞご利用ください。

